

役員 2018年3月27日現在

■取締役

取締役会長 丹呉 泰健  
 代表取締役社長 寺島 正道  
 代表取締役副社長 岩井 睦雄  
 代表取締役副社長 見浪 直博  
 代表取締役副社長 廣渡 清栄  
 取締役 幸田 真音\*  
 取締役 渡邊 光一郎\*

\*取締役 幸田 真音および渡邊 光一郎は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役 湖島 知高  
 常勤監査役 永田 亮子  
 監査役 今井 義典\*  
 監査役 大林 宏\*

\*監査役 今井 義典および大林 宏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

■執行役員

社長 (最高経営責任者)  
 副社長 (たばこ事業本部長)  
 副社長 (最高財務責任者、コミュニケーション担当)  
 副社長 (コンプライアンス・総務・法務・企画・IT・CSR・人事・監査担当)  
 専務執行役員 (コンプライアンス・総務担当)  
 専務執行役員 (たばこ事業本部 国内たばこ事業プレジデント)  
 常務執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長)  
 常務執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング&セールス責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 渉外企画室長)  
 執行役員 (たばこ事業本部 R&D責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 製造責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 原料責任者)  
 執行役員 (たばこ事業本部 品質保証責任者)  
 執行役員 (医薬事業部長)  
 執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)  
 執行役員 (法務担当)  
 執行役員 (企画・IT担当)  
 執行役員 (ビジネスディベロップメント担当)  
 執行役員 (コミュニケーション担当)  
 執行役員 (総務担当)  
 執行役員 (CSR担当)  
 執行役員 (人事担当)

寺島 正道  
 岩井 睦雄  
 見浪 直博  
 廣渡 清栄  
 千々岩良二  
 佐々木治道  
 山下 和人  
 前田四郎治  
 福地 淳一  
 柴山 武久  
 大友 平和  
 小倉 健實  
 伊熊 浩之  
 藤本 宗明  
 大川 滋紀  
 山田 晴彦  
 前田 勇気  
 筒井 岳彦  
 中野 恵  
 菊池 孝徳  
 小川 千種  
 森 功一

株主・投資家の皆さまへ  
**業績報告書**

vol.60



株価の推移 1994年10月27日上場～2018年2月 当社株価（東証終値、月間）



\*2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-8422 東京都港区虎ノ門2-2-1 JTビル  
 TEL 03-3582-3111 <https://www.jti.co.jp/>

2017年度実績および2018年度業績見込

JT NEWS

ひとの  
 ときを、  
 想う。 JT

# 厳しい環境下においても、底堅い利益を創出



代表取締役社長  
**寺島正道**

## 2017年度実績

2017年においては、世界的な景気の不透明さ、国際的な政治情勢の変化、地政学的リスクの増大に加え、各国での総需要減少、規制強化、増税、価格競争など、当社を取り巻く事業環境は厳しいものでした。しかし、変化の激しい事業環境においても、将来の成長に向けた積極的な事業投資を実行しつつ、様々なリスクを適切にマネージした結果、全社利益指標である「為替一定ベース調整後営業利益」は、対前年ほぼ同水準となりました。

為替影響を含む財務報告ベースについては、海外たばこ事業における為替影響は限定的なものとなり、売上収益、調整後営業利益は、対前年ほぼ同水準となりました。

一方、営業利益・当期利益については、不動産関連

売却益の減少等により、それぞれ対前年5.4%、6.9%の減益となりました。

海外たばこ事業については、イランや新興市場での堅調なパフォーマンスおよびフィリピン、インドネシアでの買収効果があったものの、様々な市場における総需要の減少と競争激化を主因に、総販売数量は対前年ほぼ同水準となりました。GFB\*販売数量については、新興市場での力強い成長、複数の主要市場におけるシェアの伸長を背景に、対前年0.8%増となりました。

ドルベース・為替一定ベースでは、自社たばこ製品売上収益は、プライシング効果を販売数量減少の影響が相殺し、対前年ほぼ同水準となり、調整後営業利益については、一過性の損失を計上したものの、製造コストの低減効果が着実に発現し、対前年4.0%の成長となりました。

ドルベース・財務報告ベースでは、イギリス・ポンド、トルコ・リラ、新興市場等の通貨安のネガティブな影響が、ロシア・ルーブル高のポジティブな影響を上回り、自社たばこ製品売上収益は対前年ほぼ同水準、調整後営業利益は1.4%の増益にとどまりました。なお、円ベースの実績については、円安効果がポジティブに作用し、自社たばこ製品売上収益は3.4%の増収、調整後営業利益は4.5%の増益となりました。

国内たばこ事業の実績については、趨勢減およびReduced-Risk Products (RRP) \*\*市場の拡大により、

紙巻総需要は対前年12.9%の減少、JT紙巻販売数量は対前年12.5%の減少となりました。

紙巻シェアについては、「メビウス」および「ナチュラル アメリカン スピリット」等の注力ブランドが堅調なパフォーマンスを見せ、JTブランドトータルでは対前年0.3%ポイント増の61.3%となり、No.1ポジションをさらに強化しています。

また、「プルーム・テック」については、カプセル製造能力の上昇に伴って段階的に販売エリアを拡大し、カプセルの販売数量は第4四半期に大きく増加しております。

自社たばこ製品売上収益は、「プルーム・テック」関連での100億円強の売上伸長および「メビウス」等の定価改定による単価上昇効果があったものの、紙巻販売数量の減少により、対前年9.1%の減収となりました。調整後営業利益については、紙巻たばこへの投資水準最適化を通じたコスト低減等があったものの、減収影響が大きく、対前年10.7%の減益となりました。

医薬事業では、導出品の販売拡大に伴うロイヤリティ収入の増加、および抗HIV薬等の国内販売好調による子会社の売上伸長により、対前年175億円の増収、144億円の大増益となりました。

加工食品事業については、売上収益は対前年減少しましたが、利益率が高い商品の販売強化およびコスト低減に努めたこと等により対前年4億円の増益となり、5期連続の利益成長を達成いたしました。

## 2018年度業績見込

2018年については、チャレンジングな事業環境が継続すると見ておりますが、RRPへの投資や、新興市場への地理的拡大等の将来の利益成長に向けた事業投資を着実に推進しつつ、全社利益指標である「為替一定ベース調整後営業利益」は、対前年3.7%の成長を目指してまいります。為替影響を加味した業績見込については、円高を主因に若干の為替の不利な影響を織り込み、対前年2.5%の成長となる見通しです。

なお、2018年の一株当たり年間配当金については、強固な財務基盤を維持しつつ、安定的・継続的な配当金成長を目指すという方針のもと、10円増配となる150円を予定しております。

\* JTグループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「LD」「ベンソン・アンド・ヘッジス」「グラマー」「ソプラニー」「シルクカット」「ナチュラル アメリカン スピリット」の9ブランドをグローバル・フラッグシップ・ブランド(GFB)としております。なお、2018年よりGFBを「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「LD」の4ブランドに変更いたします

\*\* RRPは、E-Vapor(電子たばこ)製品およびT-Vapor(たばこペーパー)製品等、喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品を指しております。当社が日本で発売しているT-Vapor製品は、たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー(たばこ葉由来の成分を含む蒸気)を楽しむ製品です

## 2017年度 全社実績

	2016年度実績 (2016年1-12月)	2017年度実績 (2017年1-12月)	対前年増減率
<b>為替一定ベース</b>			
調整後営業利益*1	5,868	5,832	-0.6%
<b>財務報告ベース</b>			
売上収益	21,433	21,397	-0.2%
調整後営業利益*1	5,868	5,853	-0.3%
営業利益	5,933	5,611	-5.4%
当期利益*2	4,217	3,924	-6.9%

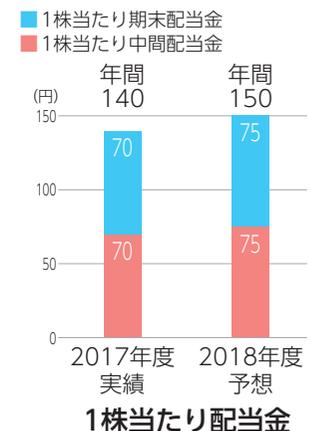
\*1 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費+調整項目(収益および費用)\*  
\*調整項目(収益および費用)= のれんの減損損失+リストラックチャリング収益および費用等

\*2 親会社の所有者に帰属する当期利益

## 2018年度 全社見込

	2017年度実績 (2017年1-12月)	2018年度見込 (2018年1-12月)	対前年増減	対前年増減率
	5,853	6,070	+217	+3.7%
売上収益	21,397	22,200	+803	+3.8%
調整後営業利益*1	5,853	6,000	+147	+2.5%
営業利益	5,611	5,610	-1	-0.0%
当期利益*2	3,924	3,940	+16	+0.4%

(単位: 億円)



# 海外たばこ事業

## ✓今期のポイント

- 新興市場の伸長および買収効果により、総販売数量は対前年同水準
- 主要市場でのシェア伸長等により、GFB販売数量は堅調
- 主にコスト低減効果が着実に発現したことにより、為替一定で増益

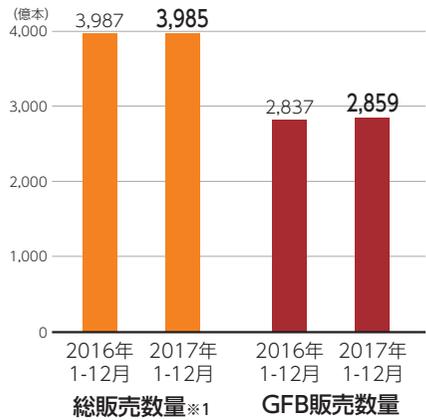


### 主要市場シェア (12か月移動平均)

	2016年 12月	2017年 12月	増減%pt
フランス	21.9%	22.0%	+0.1%pt
イタリア	23.3%	23.1%	-0.2%pt
ロシア (うちGFBシェア)	32.8% (24.7%)	33.2% (25.6%)	+0.4%pt (+0.9%pt)
スペイン	22.8%	24.0%	+1.3%pt
台湾	39.9%	41.7%	+1.8%pt
トルコ	29.4%	28.8%	-0.6%pt
英国	41.7%	40.4%	-1.3%pt

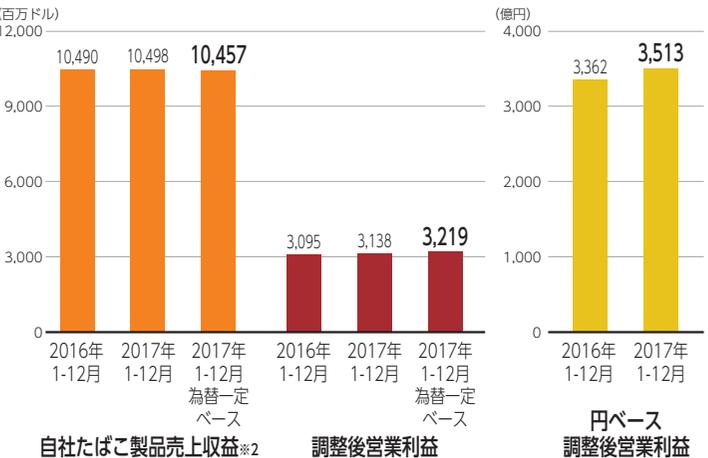
小数点第一位未満を四捨五入して表示しております  
Source: Internal Estimates, IRI, Nielsen, Logista

## 販売数量実績



※1 水たばこ/RRP/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretekを含む

## 財務実績



※2 物流事業、製造受託等を除き、水たばこ、RRPの売上を含む

# 国内たばこ事業

## ✓今期のポイント

- 趨勢減、RRP市場拡大による紙巻総需要の減少により、紙巻販売数量は減少
- 「ナチュラル アメリカン スピリット」のシェア伸長等もあり、JTシェアは堅調に推移
- 紙巻販売数量の減少により、減収・減益

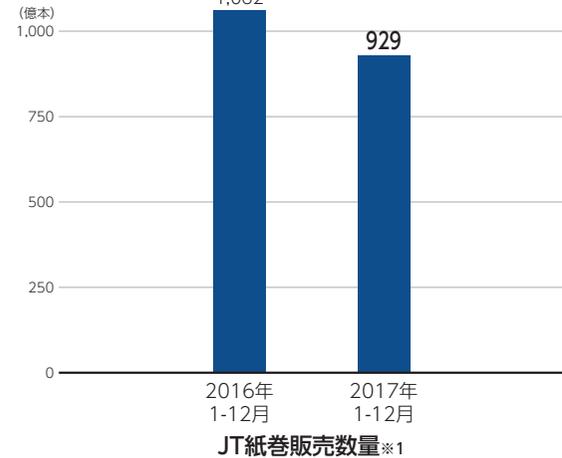


### JT紙巻シェア/注カブランドシェア

	2016年 1-12月	2017年 1-12月	増減%pt
JT	61.1%	61.3%	+0.3%pt
MEVIUS	31.4%	31.4%	-0.0%pt
Winston	8.0%	8.1%	+0.1%pt
SevenStars	7.5%	7.6%	+0.1%pt
AMERICAN SPIRIT	1.5%	1.8%	+0.3%pt

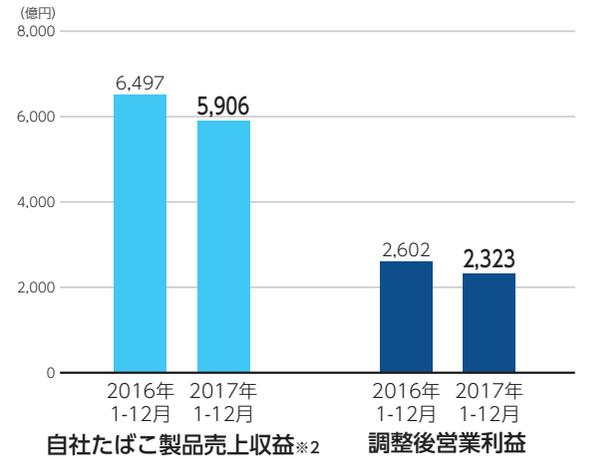
小数点第一位未満を四捨五入して表示しております

## 販売数量実績



※1 国内免税販売/中国事業/RRPを含まない

## 財務実績



※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRPの売上を含む

# 医薬事業

## 業績サマリー

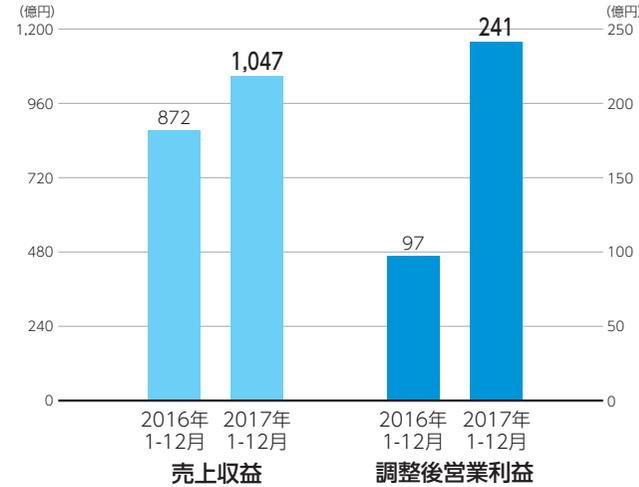
売上収益 **1,047** 億円  
前年同期比 **+175億円↑**  
**+20.1%↑**

調整後営業利益 **241** 億円  
前年同期比 **+144億円↑**  
**+148.0%↑**

## ✓今期のポイント

- 導出品販売好調によるロイヤリティ収入増加、子会社の販売好調により、大幅な増収・増益

## 財務実績



# 加工食品事業

## 業績サマリー

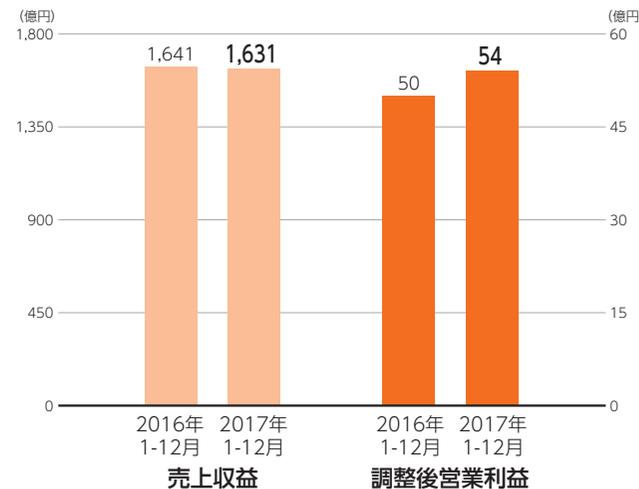
売上収益 **1,631** 億円  
前年同期比 **-9億円↓**  
**-0.6%↓**

調整後営業利益 **54** 億円  
前年同期比 **+4億円↑**  
**+8.0%↑**

## ✓今期のポイント

- 利益率の高い商品の販売強化およびコスト低減等により、5期連続の増益達成

## 財務実績



## 将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社または当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予測しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象または条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実または前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまなリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません）。

- ① 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ② たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティングおよび使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制および政府による調査の影響等
- ③ 国内外の訴訟の動向
- ④ 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤ 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥ 市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・ニーズの変化および需要の減少
- ⑦ 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧ 国内外の経済状況
- ⑨ 為替変動および原材料費の変動
- ⑩ 自然災害および不測の事態等

# 連結財務諸表

(注) 記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

## 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 12月末	2017年 12月末	増減金額
資産			
流動資産	1,605,990	1,707,767	101,777
非流動資産	3,138,384	3,513,717	375,333
有形固定資産	680,835	745,607	64,772
のれん	1,601,987	1,891,210	289,223
無形資産	423,970	479,175	55,205
投資不動産	18,184	16,700	△1,484
退職給付にかかる資産	23,680	51,377	27,696
持分法で会計処理されている投資	123,753	81,253	△42,501
その他の金融資産	99,358	114,970	15,612
繰延税金資産	166,617	133,425	△33,192
資産合計	4,744,374	5,221,484	477,109

(単位：百万円)

科目	2016年 12月末	2017年 12月末	増減金額
負債および資本			
負債			
流動負債	1,356,574	1,478,623	122,049
非流動負債	859,759	900,833	41,074
負債合計	2,216,333	2,379,456	163,123
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,456,091	2,761,687	305,596
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△443,822	△443,636	186
その他の資本の構成要素	△303,554	△167,338	136,215
利益剰余金	2,367,067	2,536,262	169,195
非支配持分	71,950	80,340	8,390
資本合計	2,528,041	2,842,027	313,986
負債および資本合計	4,744,374	5,221,484	477,109

## 連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 1-12月	2017年 1-12月	増減金額
売上収益	2,143,287	2,139,653	△3,634
売上原価	△872,433	△843,558	28,875
売上総利益	1,270,854	1,296,094	25,241
その他の営業収益	70,101	45,724	△24,377
持分法による投資利益	6,489	6,194	△295
販売費および一般管理費等	△754,115	△786,911	△32,796
調整後営業利益※	586,777	585,300	△1,477
営業利益	593,329	561,101	△32,227
金融収益	6,618	4,780	△1,839
金融費用	△21,710	△27,349	△5,639
税引前利益	578,237	538,532	△39,705
法人所得税費用	△152,464	△141,783	10,681
当期利益	425,773	396,749	△29,025
当期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期利益	421,695	392,409	△29,286
非支配持分に帰属する当期利益	4,078	4,340	261
当期利益	425,773	396,749	△29,025

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産にかかる償却費＋調整項目(収益および費用)\*

\*調整項目(収益および費用)＝のれんの減損損失±リストラクチャリング収益および費用等

## 連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 1-12月	2017年 1-12月	増減金額
当期利益	425,773	396,749	△29,025
税引後その他の包括利益	△190,523	157,449	347,973
当期包括利益	235,250	554,198	318,948
当期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する当期包括利益	231,590	549,309	317,719
非支配持分に帰属する当期包括利益	3,660	4,889	1,229
当期包括利益	235,250	554,198	318,948

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2016年 1-12月	2017年 1-12月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	376,549	419,212	42,663
投資活動によるキャッシュ・フロー	△687,509	△352,632	334,877
財務活動によるキャッシュ・フロー	91,318	△77,032	△168,350
現金および現金同等物の増減額(減少)	△219,643	△10,452	209,190
現金および現金同等物の期首残高	526,765	294,157	△232,608
現金および現金同等物にかかる為替変動による影響	△12,965	1,782	14,748
現金および現金同等物の当期末残高	294,157	285,486	△8,670

食品新商品紹介

かねふくの明太子使用  
**明太クリームうどん**

電子レンジ調理 1食入/238g

- もちもち麺に絶妙なバランスで絡む濃厚な明太クリームソース



担当者コメント テーブルマーク(株) M&S本部 商品開発部 浅野 嵐

簡単・便利で人気のワントレイ具付き麺シリーズから待望の新商品です。上質なことで知られる「かねふく」の明太子と、生クリーム&バターを使った濃厚な明太クリームソースがもちもちとした食感のさめきうどんに絡むので、口当たりが良く、深い味わいが楽しめます。



**しいたけの肉詰め**

~ごろっとしたしいたけを使いました~

電子レンジ調理 4個入/120g

- だしの風味を閉じ込めた柔らかく程よい食感のしいたけに国産鶏ひき肉を詰めて焼き上げました

**「丹念仕込み 本場さめきうどん」が「ジャパン・フード・セレクション」グランプリを獲得**

テーブルマークの「丹念仕込み 本場さめきうどん3食」が「第26回ジャパン・フード・セレクション」における最高位、グランプリを獲得しました。「ジャパン・フード・セレクション」は日本フードアナリスト協会が主催する、日本初の食品・食材評価制度です。



2013年に発売されて以来、強いコシとなめらかさ、もちもちの食感が楽しめる商品としてご好評をいただいている「丹念仕込み 本場さめきうどん3食」。グランプリ獲得を記念して記念パッケージを発売していますので、ぜひご注目ください。



**さつま揚げ串**

電子レンジ調理 自然解凍可

5本入/100g

- さつま揚げ特有の甘い味付けの生地に5種の野菜入り  
ちょっと一杯のおつまみに最適

担当者コメント ケイエス冷凍食品(株) 商品企画・開発本部 商品企画部 山本 健介

5種類の野菜（枝豆・生姜・にんじん・たまねぎ・青ねぎ）が入った、甘い味付けのさつま揚げを食べやすく串に刺しました。仕事帰り、晩酌のお供に最適の一品です。「今日もお疲れさん」と語りかけるキャラクターのイラストを全面にあしらったパッケージが目印です。ぜひご愛顧のほどよろしくお願ひします。



**ロングセラー2商品をリニューアル**

ケイエス冷凍食品は、発売45周年を迎えた「国産肉肉だんご」を大幅リニューアルしました。1個あたりのサイズを約1.5倍にして噛み応えや肉感をアップさせるとともに、黒糖・黒酢入りの甘酢タレにオイスター味を加えることでコクをプラスし、さらにご飯が進む商品に仕上がっています。パッケージには45周年のアイコンを加えました。



また、発売25周年を迎えた「国産鶏 鶏つくね串（照焼）」のパッケージもリニューアルし、25周年のアイコンを加えております。ぜひご賞味ください。



## たばこ新商品紹介

たばこ葉を 味わう メンソールを。

# 「ナチュラル アメリカン スピリット オーガニック ミント」

JTは2月下旬、「ナチュラル アメリカン スピリット」(以下、アメスピ) ブランドの新製品を発売しました。



「ナチュラル アメリカン スピリット オーガニック ミント」

## オーガニックミントから抽出した メンソールを100%使用

有機栽培の認証を受けたオーガニックミントから抽出される天然メンソールを100%使用。まろやかなメンソールが「アメスピ」ならではの熟成されたたばこ葉のブレンドと相まって、たばこ葉本来の味わいを愉しめます。

タール値:12mg  
ニコチン値:1.5mg  
480円(20本入り)

### 担当者コメント

JT ブランド企画部 ブランドマネージャー 一之瀬 研斗



2017年10月の「ナチュラル アメリカン スピリット オーガニック リーフ ONE」発売によるレギュラー1mgカテゴリへの商品配置に続き、これまで未配置だったタール値ゾーンであるメンソール10mg以上のカテゴリへの商品投入を行いました。これにより、レギュラー、メンソールともに低タールから高タールまでの商品ラインナップが完成し、味、タール値ともお客様の好みに応じて選択することが可能となりました。

今後も「アメスピ」ブランドのさらなる価値強化を図っていきます。

※このページは株主の皆様へに事業を説明する目的で作成されたものです。お客様へのたばこの販売促進もしくは喫煙を促す目的ではありません

## 工場見学会開催のご報告

2017年11月10日、11日、「テーブルマーク 魚沼水の郷工場」にて、株主様向けの工場見学会を開催いたしました。2,000名を超える株主様からご応募いただき、抽選によりご当選された株主様、ご同伴者様にご参加いただきました。見学会当日は、当社グループの概要説明や冷凍うどん、パックご飯の製造工程のご見学、うどんのご試食をしていただきました。当社グループへのより一層のご理解と、株主の皆様とのコミュニケーションを深める機会として、今後も工場見学会の企画・実施をまいります。



### ご参加の皆様の声

- 丁寧な説明でとてもわかりやすかった。
- 衛生面に大変気を使っていることがよくわかった。
- 株主優待で送られてきた製品を普段あまり考えずに食べていたが、これからは、工程を思い出しながら、より美味しくいただけそう。小売店でもテーブルマークブランドの商品を買いたい。
- 試食のうどんもおいしかった。見学者は必ずと言っていいほど購入したいと思うでしょう。
- 製造工程を詳しく理解できた。
- 有意義な見学会でした。また機会があればぜひ参加したい。



## 株主優待における寄付について

2017年6月30日現在の株主様を対象とした株主優待において、優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を「東日本大震災及び熊本地震の復興支援に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意したところ、2,515名の株主様にご選択いただきました。

その合計額4,565,000円を2018年1月12日に社会福祉法人 中央共同募金会『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金2」及び「災害ボランティア・NPO活動サポート募金・九州」を通じて、寄付いたしました。ご協力いただきました株主の皆様には、厚く御礼を申し上げます。



社会福祉法人  
中央共同募金会とは

全国47都道府県共同募金会の連合体で赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。

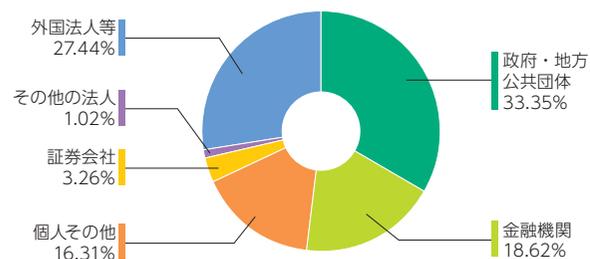
また、全国的な視野により活用される寄付金や2つ以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れ及び調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。

## 会社概要

商号 日本たばこ産業株式会社 設立 1985年(昭和60年)4月1日  
 本社所在地 〒105-8422 資本金 1,000億円  
 東京都港区虎ノ門二丁目2番1号 JTビル  
 TEL.(03)3582-3111(代表)  
 FAX.(03)5572-1441  
<https://www.jti.co.jp/>

## 株式の状況 2017年12月31日現在

### 所有者別構成比



発行可能株式総数 8,000,000,000株  
 発行済株式の総数 2,000,000,000株  
 (自己株式 208,956,589株)  
 株主数 205,939名

## 配当金のお受け取り方法 口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



## 株主メモ

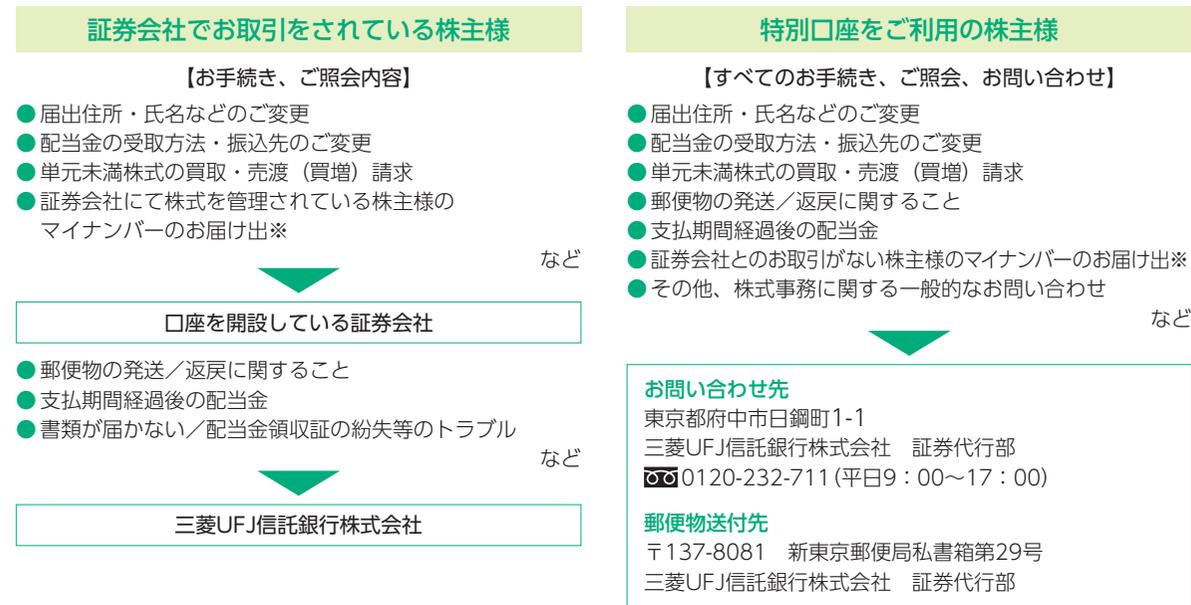
決算期 12月31日 定時株主総会 3月  
 期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株  
 公告の方法 電子公告  
 当社ホームページ (<https://www.jti.co.jp/>) に掲載  
 ※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社  
**■ 事務取扱場所**  
 東京都千代田区丸の内1-4-5  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

**■ お問い合わせ先**  
 東京都府中市日鋼町1-1  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
 ☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

**■ 郵便物送付先**  
 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号  
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

## 株式の諸手続きについて



※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社等へマイナンバーをお届けください